

ぼらんていあ川口

あなたの
ボランティア活動を
応援する情報誌だよ



R8. 8. 1
141号

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター
編集：ぼらんていあ川口編集員
〒332-0015
川口市川口1丁目1番1号キュポ・ラ本館棟
M4階
TEL：048-227-7640
FAX：048-227-7641
<https://kawaguchisyakyo.jp/volun/>

笑顔が集まる場所『サロン・びしょう』

★今回は、書道や美術活動を通じて障害をお持ちのかたの居場所づくりや余暇活動を行っている、『サロン・びしょう』の久保島さんにお話を伺いました★

Q. 『サロン・びしょう』を始めたきっかけは何ですか？

A. もともと障害児関係の仕事をしていました。その経験を生かしながら、最初は書道と臨床美術から始めました。そこから少しずつ種類を増やしていった、「みんなが趣味として楽しめる場所にしたい」と思いながら活動してきました。ありがたいことに、口コミで少しずつ広がって、生徒さんも集まってくださるようになりました。

みなさんが笑顔で過ごせる場所にしたいという思いで、『サロン・びしょう』という名前で活動しています。（びしょう＝微笑・美笑の意を込めて）ただ、生徒さんのご家族については、お子さんのことに一生懸命で、ご自身の時間までなかなか手が回らないかたも多いので、そこは今後の課題の一つですね。今後は、親御さんも一緒に楽しめる趣味クラブのような場所にしていきたいです。※臨床美術…脳の活性化と心の解放を促すアートセラピー



Q. 活動していて良かったことは何ですか？

A. やはり、生徒さんの成長を感じられることが一番うれしいです。最初は難しそうにしていたことが、少しずつできるようになったり、自信を持って取り組めるようになったりする姿を見ると、本当にやっていて良かったと思います。

作品づくりも書道や臨床美術の他、さをり織りや絵手紙、うちわ・風・年賀状・カレンダーを作ったりしています。完成した作品を見て、ご家族のかたも一緒に喜んでくださるのがうれしいですね。



Q. 読者のみなさんへ伝えたいことはありますか？

9月30日（水）から10月4日（日）まで、アトリアで展覧会を開催します。親御さんも知らなかったお子さんの一面を見ることができたり、珍しい美術作品を見ていただける機会になると思います。実際に見たり、触れたり、体験してみると、「こんな良さがあったんだ」と新しい発見につながることもあります。ぜひ気軽に足を運んでいただけたらうれしいです。





福祉教育推進員ボランティア 養成講座開催



学校や地域で福祉体験学習（車いす・アイマスク・高齢者疑似体験等）の協力をするボランティア養成講座です。

日 時：9月1日（火）10:00～12:30

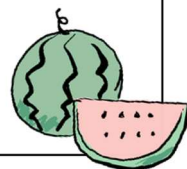
場 所：青木会館 1 階コミュニティルーム AB

対 象：平日活動できるかた、毎月第1火曜の定例会になるべく参加できるかた

定 員：15 名（先着順）

申込開始：8月1日（土）～電話にて受付開始

電 話：048-227-7640



見学レポート：ボッチャサポーター養成講座

障害者スポーツのボッチャを広めていくための、ボッチャサポーター養成講座が、青木会館を会場にして6月18日と6月24日の2日間で開催されました。ボッチャは東京パラリンピックを機に近年注目度が高まっていて、今回は予想を大幅に上回る、36名の申し込みがあったそうです。

講座では歴史や道具の紹介から始まり、続いて細かなルールの説明がされ、皆さんが熱心に聞き入っていました。今後、このような機会から障害者スポーツがますます広まり、さらに社会交流に発展していくことを期待します。



▲ボッチャを体験している様子



▲ルールを勉強中



ボランティア募集

囲碁・将棋のボランティア！

内 容：施設ご入居者様と一緒に、囲碁・将棋を行っていただく

場 所：ニチイホーム川口
（川口市本町 2-11-1）

日 時：いつでもOK

募 集：どなたでも

問合せ：048-228-3051（高田）



- 編集後記 -

サロン・びしょうさんを訪問しました。一步入ると、展示されている作品にまず目を奪われました。ジャンルもクオリティも素晴らしいです。久保島さんおひとりでさまざまなジャンルを教えていらっしゃるのと同じ、またびっくり。おじゃました日は、秋のアトリア展示に向けて書道に取り組んでいました。“びしょう”のなまえどおり、笑顔で自然体、のびのびと楽しんでいる生徒さんの様子がとても印象的でした。

（ぼらんていあ川口
編集員 Y.A）

